

# 調査結果の要約

## 1 定住性

(1) 区民の居住年数は、「20年以上」の〈長期居住者〉が66.5%と全体の6割強を占めている。次いで5年から20年未満の〈中期居住者〉が19.3%（「5～10年未満」7.5%、「10～20年未満」11.8%）、5年未満の〈短期居住者〉が12.7%（「1年未満」3.0%、「1～5年未満」9.6%）となっている。

(2) 今住んでいる地域の暮らしやすい点については、「普段の買い物が便利」が59.6%と最も高く、次いで「公園や緑が多い」が49.5%、「通勤や通学などの交通の便がよい」が38.8%、「物価が安い」が31.0%の順となっている。

一方、暮らしにくい点は、「治安がわるい」が25.2%と最も高く、次いで「医者や病院の便がわるい」が18.8%と続いている。また「特にない」も21.1%を示している。

(3) 今住んでいるところが暮らしやすいと感じているかについて、「暮らしやすい」と回答した人は24.0%であり、「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した人60.9%と合わせた〈暮らしやすい〉は全体の84.9%を占めている。

一方、「暮らしにくい」と回答した人(2.4%)と「どちらかといえば暮らしにくい」と回答した人(11.4%)を合わせた〈暮らしにくい〉は13.8%である。

(4) 区内に「ずっと住みたい」(36.3%)と「当分は住みたい」(38.1%)を合わせた〈定住意向〉を持っている人が74.4%を占めている。「区外に転出したい」という〈移転意向〉を持っている人は6.3%であるが、一方で「わからない」と回答した人も18.5%みられる。

## 2 食育

(1) 食育の言葉や意味について聞いてみると、「言葉も意味も知っていた」が50.3%と約5割であった。次いで「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が29.6%、「言葉も意味も知らなかった」が18.8%である。

(2) 食育への関心について聞いてみると、「関心がある」(39.0%)と「どちらかといえば関心がある」(41.9%)を合わせた〈関心がある〉が80.9%となっている。一方、「関心がない」(4.2%)と「どちらかといえば関心がない」(13.5%)を合わせた〈関心がない〉は17.7%となっている。

(3) ふだん朝食を食べるかについて聞いてみると、「ほとんど毎日食べる」が81.7%で約8割を占めている。一方で、「ほとんど食べない」と回答した人は9.4%で1割弱にのぼる。その他、「週に2～3日は食べない」は6.4%、「週に4～5日は食べない」は1.8%となっている。

(4) 食品の安全に関心があるかについて聞いてみると、「関心がある」(72.5%)と「どちらかといえば関心がある」(21.6%)を合わせた〈関心がある〉人は94.2%である。一方、「関心がない」(0.6%)と「どちらかといえば関心がない」(4.4%)を合わせた〈関心がない〉人は5.0%となっている。

(5) 食生活における活動や行動について聞いてみると、「ほぼ毎日朝食をとっている」(79.6%)と回答した人

が最も多く、以下「毎日野菜を食べている」(60.4%)、「脂肪を取り過ぎないようにしている」(53.8%)の順になっている。

(6) 食生活を改善しようとする場合必要なことを聞いてみると、「スーパーマーケット、コンビニエンスストア等での情報提供」(47.1%)と「食品メーカーからの情報提供」(43.9%)が40%以上を示している。次いで「保健所・保健総合センター等、行政からの情報提供」(32.9%)、「専門家のアドバイス」(25.2%)となっている。

(7) 知りたい食の情報について聞いてみると、「食品の安全・安心について」(59.7%)が最も高い。次いで「生活習慣病予防の食事」(44.5%)、「栄養のバランスの目安」(44.2%)、「食べ物の産地やその食品の生産や流通過程」(41.3%)が40%を超えている。

(8) メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について聞いてみると、「言葉も意味も知っていた」と回答した人が87.3%で最も高く、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」は8.9%、「言葉も意味も知らなかった」は2.9%である。

(9) 小・中学校の給食のメニューに望むことを聞いてみると、「食味バランスのよい献立・味付け」(69.9%)が最も高く、次いで「多様な食材の活用」(50.0%)、「化学調味料や添加物を使わない給食の提供」(46.6%)となっている。

(10) 学校給食をとおして、子どもたちに身につけてほしいことを聞いてみると、「食べ物を粗末にしない」(52.7%)が最も高く、次いで「好き嫌いをなくす」(51.5%)、「食事のマナー」(49.8%)と続いている。

### 3 日常の区民生活

(1) 環境のために心がけていることでは、「ごみの分別に気をつけている」(88.5%)が最も高く、次いで「ごみやすいがらのポイ捨てをしないようにしている」(72.0%)、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」(69.8%)となっている。

(2) 災害に備えていることについては、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が59.2%と最も高く、次いで「自宅に消火器を備えている」は33.4%、「非常食・飲用水を備蓄している」は31.3%となっている。

(3) 日頃の防犯対策については、「ひったくり防止ネットの使用や、バッグを壁側に持つなどする」が39.6%で最も高く、次いで「鍵の取り替えや窓の強化など、家への侵入をしづらくする」が33.6%と高い値を示す一方、「特にない」も30.5%みられる。

(4) 日頃から防犯対策を行っている人の動機については、「治安が悪化したと感じたから」が54.2%と最も高くなっている。次いで「自分や家族、知人が被害にあった(あいそうになった)から」が33.9%、「いろいろな防犯設備があるのを知ったから」が14.3%の順となっている。

(5) 保健と医療などについて聞いてみると、「安心して受診できる医療機関が身近にある」と回答した人が32.9%を示している。その他「心の病に不安をもっている」が16.7%、「難病に関する不安をもっている」が12.7%となっている。

(6) この1年間に参加した地域活動については、「特にない」が53.8%で、半数以上が参加していなかった。

参加したものでは「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が26.4%と最も高く、次いで「区が主催する各種イベント、催し物」は14.9%、「地域の文化サークルや体育サークルなどの活動」は9.3%となっている。

(7) 今後参加したいと思う地域活動については、「高齢者の支援に関する活動」が13.1%で最も高い。次いで「生涯学習ボランティアなど地域学習に関する活動」が12.3%、「資源のリサイクルなどに関する活動」が12.1%と続いている。一方、「特にない」は40.4%を占めている。

## 4 区政

(1) 以前と比べてよくなったと思う区の取り組みについて聞いてみると、「交通対策」(31.9%)が最も高く、次いで「資源環境対策」(30.1%)、「都市開発」(30.0%)、「自然・緑化対策」(28.6%)、「情報提供」(15.2%)の順となっている。

(2) 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みについて聞いてみると、「高齢者支援」が39.4%と最も高く、次いで「交通対策」が24.5%、「災害対策」が21.2%の順で続いている。

(3) 区政に対する満足度を聞いてみると、「満足」が5.8%、「やや満足」が41.8%で、これらを合わせた〈満足層〉は47.7%である。また「不満」の8.5%と「やや不満」の18.5%を合わせた〈不満層〉は27.0%である。

(4) 区政への参加・協力について聞いてみると、「積極的に参加・協力したい」(4.1%)と「ある程度は参加・協力したい」(50.2%)を合わせた〈参加意向あり〉が54.2%である。

(5) 区の取り組みについての評価・印象について聞いてみると、「快適で安全なまちづくりが進められている」と「景観・街並みが魅力的になってきている」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた〈そう思う〉はそれぞれ53.7%と51.9%で5割以上の値を示している。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた〈そう思わない〉は19.2%を示している。「区の情報を容易に知ることができる」では〈そう思う〉が62.5%を示し、4項目の中で最も高い。「(4)区民・団体等と区役所が協働して事業を進めている」では「わからない」と回答した人が57.8%と、50%以上を示している。

(6) 区政への区民の意見の反映について聞いてみると、「そう思う」と回答した人が2.8%、「どちらかと言えばそう思う」と回答した人が16.3%で、これらを合わせた〈そう思う〉は19.1%である。また「そう思わない」と回答した人の11.4%と「どちらかと言えばそう思わない」と回答した人の15.6%を合わせた〈そう思わない〉は27.0%である。

(7) 区政に区民の意見が反映されていると感じた理由については、「交通の新規開通や市街地開発が進み、区が発展しているから」が42.4%で最も多く、次いで「特に区政に不満がないから」(29.8%)、「『区民の声』や『パブリックコメント制度』、『区役所各課のEメール』など意見を言うことができる場が整っているから」(29.4%)となっている。

(8) 区政へ意見を言うことができる場について聞いてみると、「ぜひ利用したい」と回答した人が5.0%、「機会があったら利用したい」と回答した人が61.6%で、これらを合わせた〈利用したい〉は66.6%である。また、「まったく利用したくない」と回答した人の7.5%と「あまり利用したくない」と回答した人の20.9%を合わせた

〈利用したくない〉は28.4%である。

(9) 区政へ意見を言うことができる場を利用しようと思わない理由を聞いたところ、41.7%の人が「言いたい意見はあるが、意見を言っても変わらないと思うから」と回答している。次いで、「特に言いたい意見がないから」が34.9%で、「言いたい意見はあるが、面倒だから」が16.1%を示している。

(10) 人権について関心があるか聞くと「非常に関心がある」と答えた人は28.8%であり、「少しある」の42.6%を合わせた〈関心がある〉は全体の71.5%を占めている。一方、「全くない」(1.3%)と「あまりない」の4.9%を合わせた〈関心がない〉は6.2%である。

(11) 男女の地位が平等かを聞いてみると、「男性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば、男性のほうが優遇されている」と回答した人を合わせた〈男性のほうが優遇〉が55.9%を占める一方で、「女性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」と回答した人を合わせた〈女性のほうが優遇〉は9.3%にすぎない。一方、「平等」も18.7%にとどまっている。